

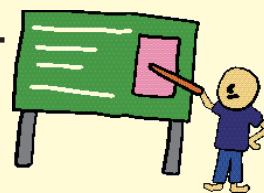
大雪山の花園は今

～高山植物開花フェノロジー調査2011年報告会～

北海道大雪山は国内で最も広く総面積は神奈川県に匹敵する国立公園です。世界に類を見ないほどの高山植物群落の豊かさと広さを有し日本産の約4割に相当する240種ほどが知られています。なかでも表大雪の黒岳・赤岳に開花状況調査地を4箇所設置し一般登山者が調査を実施して10年を経ました。人間の活動が及ばない高山で開花を記録し続け10年で最も多い調査数と猛暑を記録した2010年に焦点を当てて報告します。

講演 **工藤 岳** 北海道大学大学院地球環境研究院 准教授

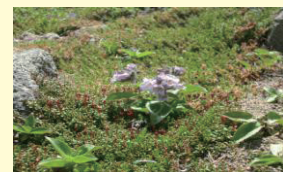
日 時; 2011年11月6日(日) 14:00～16:00
会 場; 新宿区立環境学習情報センター エコギャラリー新宿
東京都新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内
TEL 03-3348-6277
参加費; 無料、登山者大歓迎!
申込み; 資料準備の都合上、FAXにて申込み受付。飛び込み歓迎!
連絡先; NPO法人アース・ウィンド(北海道)
連絡先 TEL/fax 011-389-9445 EMAIL; staff@e-wind.org



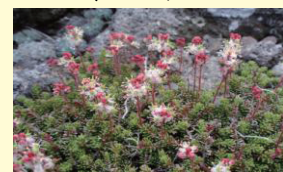
大雪山赤岳
コマクサ平 1865m



高山植物の女王
コマクサ



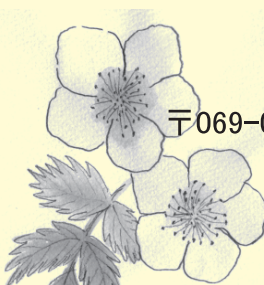
花冠が袋状
イワブクロ



赤やピンクの花
チシマツガザクラ



調査員募集中!



NPO法人アース・ウィンド

〒069-0803 北海道江別市野幌屯田町10-11

TEL/fax 011 (389) 9445

<http://e-wind.org>

email; yoksuka@e-wind.org

高山植物調査<リサーチ登山>のご案内



高山植物調査はなぜ必要なのでしょう？

地球温暖化は世界的な問題です。温暖化の影響は、高山などの寒冷地でいち早く表れます。高山植物の開花状況を、長期にわたって定点観測することで、影響度を測る事ができます。

当活動は、長年の活動実績が認められ、環境省生物多様性センターの、モニタリング1000の高山帯調査サイトのひとつとなりました。

モニタリング1000とは、国が生物多様性保全の計画について策定した新・生物多様性国家戦略の提案の1つとして、より質の高い自然環境データを継続的に収集・蓄積する事業です。



北海道大学准教授
工 藤 岳

地球温暖化の影響は、これまで人間生活の影響をほとんど受けて来なかった高山生態系にもはっきりと現れ始めています。その変化を登山者の目でとらえ、しっかりと記録し、将来へ残していくことは、地球環境変化への関心を高めるだけでなく、将来の生態系変化予測や高山生態系の保全対策への提言にもつながる重要な行動です。リサーチ登山の取り組みは、市民参加型環境モニタリングの実践例として大きな注目を集めています。



地球温暖化の影響

「地球温暖化」という言葉を、よく耳にしますね。大気や海洋の平均温度の上昇のことですが、生物圏内の生態系の変化や海面上昇による海岸線の浸食など、様々な影響が指摘されています。

温暖化は、長期間の観測が欠かせませんが、高山帯では温暖化の影響は寒冷生態系で最も顕著であること、人間活動の直接的影響が低く、地球環境変化を検出しやすいことなどから、**「高山生態系は地球環境診断のリトマス紙」**といえます。



19 年間の
変化

